TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　主よ、来りませ。
コリントの信徒への手紙一　16 章 13-24 節

2025 年11 月８日 & ９日
余沢　武　牧師

I.　はじめに

こんにちは。今日は、コリントの信徒への手紙一の最後の部分、パウロが手紙に書かれている内容を要約している箇所を見ていきます。

皆さんにお聞きします。コリントの信徒への手紙一について考えるとき、何が思い浮かびますか。別の質問をします。富士山について考えるとき、何が思い浮かびますか。

ある人にとっては、美しい湖、美味しいほうとう、「忍野八海」の古い町並み、または山頂からの日の出かもしれません。「富士山に行こう」と言うとき、私たちは「どこに」向かうのか、「なぜ」そこに向かうのか、「何を」楽しみに待つべきかを明確にする必要があるのはそのためです。

パウロは１コリントの手紙の中で様々なテーマについて触れました。結論を述べる前に、「どこに」向かうのか、「なぜ」そこに向かうのか、「何を」楽しみに待つべきかの焦点を私たちが見失うことのないようにパウロは明確にしています。祈りましょう。

II.　主よ、来りませ。

(1)しっかりと立ちなさい。

パウロは、クリスチャンの人生がどのようなものであるべきかを要約しています。**コリントの信徒への手紙一16:13−14** を開きましょう。パウロはこう言います。

[13] 目を覚ましていなさい。信仰にしっかりと立ちなさい。雄々しく強くありなさい。[14] 何事も愛をもって行いなさい。

クリスチャンの人生とは、「目を覚ましている」または「注意を払う」ことです。私たちは「罪深い体」を「栄光の体」に変えてくださるよう、イエスが戻ってこられるのを待っています。

私たちは「信仰にしっかりと立つ」ことによってそうしています。つまり「神の知恵である福音を握りしめる」ということです。私たちが神の民としてイエスに似た者へと成長できるように、自分の罪を認識し、イエスの十字架が私たちの罰の身代わりであったことを認め、赦してください、自分を変えてくださいといつも神にお願いすることによってそうします。

これは、ティモシー・レインとポール・トリップによる著書「人はどのようにして変わるのか」から作成した3本の木の図式です。

私たちは人生において、あらゆる「熱、様々な困難」に直面します。

これが私たちです - 「とげ」。「熱」があたると、私たちは実を結ぶことが出来ません。私たちは罪－怒り、情欲、偶像礼拝、傲慢、不従順、金銭欲によって反応します。

私たちのゴールは、たとえ「熱」があたる時でも、「御霊の実」－愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制を結び、イエスのようにしていることです。

例えば、誰かとハイキングに行くことをとても楽しみにしていたとしましょう。しかし、相手が土壇場でキャンセルしたとします。そして、フェイスブックを通して、彼が別の人たちとピクニックに行っているの見ます。これが「熱」です。

私たちは怒って、これは彼の間違いだと考え、「神様、彼の罪を赦すことができるように助けてください。」と祈るかもしれません。しかし彼が罪を犯していないことに気付いてください。聖書には、「ピクニックに行ってはいけない」とは書かれていません。イエスは私たちのように彼の行動を怒りません。本当の問題は、私たちが罪深い怒りを持っていることなのです。神は「熱」を用いてそれを明らかにしました。

私たちのゴールはイエスのようになることです。そのようなことがあっても相手を愛し、彼が他の人とピクニックに行っているのを見ても喜びと平和を持ち続けることなのです。私たちは祈って、彼を赦すことができるかもしれません。しかし彼がまた同じことをすれば、私たちはまた怒るでしょう。私たちはイエスのように愛することができないのです。

なぜでしょうか。私たちが根本的な問題に対処していないからです。私たちの心の中には偶像があります

ー私たちが信じてしまったサタンの嘘です。もしかすると私たちは次のように信じているのかもしれません。
もし彼が私の友人なら、彼は私が望む通りに行動するべきだ。彼が私とのハイキングの約束をキャンセルして、私の許可無くピクニックに行くことは罪だ。
これは本当でしょうか？ノーです。しかし私たちはそのように信じているかもしれません。
または、私たちは彼が自分達とハイキングに行ってくれることでしか喜びを得られないと信じているのかもしれません。
本当でしょうか？これもノーです。でも私たちはそう信じるかもしれません。これらは全て嘘です。しかしそれが私たちの「偶像」なのです。

それらを信じているので、それらが私たちの感情を支配するようになります。それが手に入らない時に、私たちは神に従う代わりに、罪を犯します。私たちがこれらの嘘にしがみつく限り、私たちは罪を犯し続けるでしょう。

パウロは「信仰にしっかりと立ちなさい」と言っています-これらの偶像を十字架のもとに持っていき、私たちの罪を告白し、「神様、私が望む通りに他者が行動しないといけないと信じ、私の幸せが彼らにかかっていると信じて私は罪を犯しました。私を赦し、私を変えてください」と祈ります。
そして毎日こう祈ります、「神様、あなたに信頼し、従い、あなたと共に過ごすことによって満たされると信じることができますように。」

神の恵みによっていつか神は私たちを変えてくださいます。次にまた「熱」が来て、私たちが楽しみにしていた予定を他者がキャンセルしたとしても、「彼らは私が望む通りに行動する必要はない」「神と共に過ごし、神に信頼し従うことによって私たちは満足出来る」とわかるのです。

ですので私たちは「神の言葉」に従い、愛をもって「行って、やりたいことを楽しんできて。」と言うことができます。イエスのように私たちがそれらの「嘘」に支配されていないからです。私たちはイエスに似た者へとますます成長していくことが出来ます。

他の罪、不品行、偶像や仏壇を礼拝すること、傲慢、不従順、金銭欲についても同じです。それぞれの背後に嘘、偶像があります。私たちはそれを見付け、十字架のもとに持っていき、イエスに、赦してください、自分を変えてくださいとお願いします。パウロは言います－「信仰にしっかりと立ちなさい」

パウロは、「雄々しく強くありなさい。」と言っています。－旧約聖書でよく見られる二重の命令です。
申命記 31:7－8 で、モーセはヨシュアに「**強く、雄々しくあれ。・・・主ご自身があなたに先立って行き、あなたと共におられる。**」と言いました。
ヨシュア記 1:9 で、神はヨシュアに「**強く、雄々しくあれと、私はあなたに命じたではないか。うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行っても、あなたの神、主があなたと共にいるからだ。**」と言いました。
歴代誌上 28:20 で、ダビデはソロモンに「**強く、雄々しくあれ。実行しなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。神である主、わが神はあなたと共にいて、・・・**」と言いました。

聖書によると、私たちが「雄々しく強くある」ことができるのは、私たちが優れているからではなく、「神が私たちと共にいて」、神が私たちを助けてくださるからです。パウロが言っているのはこういうことです。私たちが信仰にしっかりと立つとき、私たちは雄々しく強くあることが出来ます。神は私たちと共にいてくださいます。神は私たちの内で、そして私たちを通して働き続けてくださいます。

「何事も愛をもって行いなさい。」私たちはますますイエスのように愛することが出来るようになります。

(2)聖なる者たちのために熱心に奉仕する
15－18 節：[15] **きょうだいたち、あなたがたにお願いします。知ってのとおり、ステファナの一家はアカイアの初穂であり、聖なる者たちのために熱心に奉仕してくれました。**[16] **どうか、あなたがたも、この人たちや、共に働き、労苦しているすべての人々に従ってください。**[17] **ステファナ、フォルトナト、アカイコがそちらにいることを、うれしく思います。この人たちは、あなたがたの足りない分を満たしてくれました。**[18] **私とあなたがたとを安心させてくれたのです。このような人たちを重んじてください。**

パウロは、コリントの信徒の中に「初穂」、模範となる人々がいると言います一目を覚まし、信仰にしっかりと立ち、雄々しく強くあって、愛する人々です。「ステファナの一家」のように、「聖なる者たちのために熱心に奉仕してくれた」人々です。

何年も前、私のスモールグループは、あるメンバーのアパートで会っていました。ホストの方は 6 畳の部屋と小さなキッチンのあるアパートに住む独身の男性でした。毎週、集うとき‥
彼は布団を乾いた浴槽の中に置き、私たちの居場所を作ってくれました。11-12 人が来て、全員は部屋に収まりきらないので 2、3 人はキッチンの床に座りました。
彼はいつも温かい料理を作って私たちに食べさせ、各メンバーの誕生日を祝ってくれました。
彼は私たちのことを自分の家族のように世話をして仕えてくれました。彼は「教会のために熱心に奉仕してくれました。」

「ステファナの一家」はこのように振る舞いました。自分の家族のように教会を愛し、その必要に応じて仕えました。ある意味、様々なミニストリーで奉仕をされている人々－案内係、奏楽者、教師たちも皆これを行ってくれているのです。
パウロは、このような人たちに「従ってください」と言っています－愛をもって彼らに協力し、感謝を表わし、敬意を示してください。

(3)結論
19－20 節:[19] **アジアの諸教会があなたがたによろしくと言っています。アキラとプリスカとその家の教会が、主にあって心からよろしくと言っています。**[20] **すべてのきょうだいがあなたがたによろしくと言っています。聖なる口づけをもって、互いに挨拶を交わしなさい。**

彼らは社会的慣習に基づいて、自分の家族や友人にするように口づけをもって互いに挨拶を交わしました。今日その方法は違うかもしれません。しかし私たちは同じような愛と気配りをもって、互いに挨拶を交わすべきです。

そしてパウロは 21－24 節でこのように締めくくります:[21] **私パウロが、自分の手で挨拶を記します。**[22] **主を愛さない者は、呪われよ。主よ、来りませ。**[23] **主イエスの恵みが、あなたがたと共にありますように。**[24] **私の愛が、キリスト・イエスにあって、あなたがた一同と共にありますように。**

パウロは、「主よ、来りませ。」という祈りで締めくくっており、私たちの最終的なゴールが何であるかを思い起こさせます。

イエスが戻ってこられるとき、私たちは罪深い体から自由にされ、罪のない朽ちない体へと変えられます。そして神の愛、喜び、平和を永遠に現わすようになります。私たちはそれを楽しみに待っています。

今イエスがこの場にいてくださったらと私たちは願います。もしイエスが今、物理的にこの場にいてくだされば、人生は全く違うものになります。
想像してみてください。イエスのような友人が 1 人いたら、どんなに素晴らしいことでしょう。
私たちの家族全員がイエスのようだったらと想像してみてください－夫、妻、両親、子供、皆がイエスにそっくりだとしたら。最高の家族ですよね。
では全ての人－全ての礼拝奉仕者、案内係、奏楽者、教師、牧師がイエスのような教会を想像してみてください。最も素晴らしい教会ですよね。
しかし、もっと素晴らしいことがあります。世界中の全ての人がイエスのようだったらと想像してみてください。

イエスが戻ってこられるとき私たちはそれを体験します。私たちはそれを楽しみに待っています。
パウロは祈りました:「主よ、来りませ、マラナタ！」人生はこのためのものなのです。焦点を見失わないでください。

もしまだイエスを個人的な主、救い主として受け入れていないなら、ぜひ今日、そうしてください。イエスは私たちを「罪人」から「愛情深い神の子供」へと変え、私たちが愛と喜び、平和に満ちた人生を送ることができるように、この世に来られました。イエスを信じることで、そのような人生を始めることができます。今日そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg4625jp

★クラス 401
人生の使命を発見する
11 月 9 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ルーム 304(3F)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 201
霊的に成長するために
11 月 15 日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件:クラス 101 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 402
キリストの伝え方
11 月 23 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 まで修了した、TBCメンバーの方

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト＆印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成＆印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org